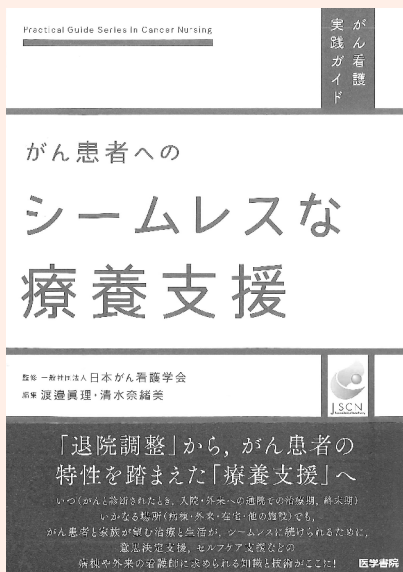




がん患者への シームレスな療養支援

一般社団法人日本がん看護学会＝監修

渡邊眞理、清水奈緒美＝編集

本体 3000 円＋税

医学書院 ☎ 03-3817-5657

がん看護学会の学会事業の一つとして刊行される『がん看護実践ガイド』シリーズの1冊。がん治療の進歩と予後の長期化に伴い、がんの在宅療養や通院治療が増えつつある。看護職には、いかなる場所においても「がんとともに生活する」人の日常を支え、患者・家族の望む治療と生活がシームレスに続けられるよう支援することが求められる。患者の意思決定、セルフケア、そして終末期に至るまでに寄り添うための知識とスキルの体系化。

認知症「ゆる介護」のすすめ 在宅介護の「イライラ」を“ほっこり”に変える

柳本文貴＝著

本体 1800 円＋税

メディカ出版 ☎ 06-6398-5008



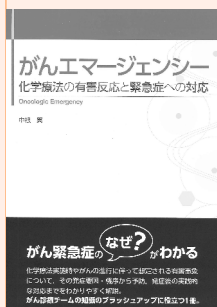
介護老人保健施設3年、認知症グループホーム4年、在宅7年の介護経験をもつ著者が、ちよっと困った人（認知症の高齢者）と、どう上手に、ある意味テキトーに関われるか、そして、ときに一緒に暮らせるか、を考え（「フロッグ」より）書いたための介護の本。

がんエマージェンシー 化学療法有害反応と緊急症への対応

中根実＝著

本体 4000 円＋税

医学書院 ☎ 03-3817-5657



ただちに治療を要する有害事象「がん緊急症」。全身状態の悪化・臓器障害・免疫力の低下など、がんの診断前の段階や精査途中においても急頭におく必要がある。その分類と、緊急度の評価と判定について、さらに予防から発症後の対応までを解説する。

認知症ケアの自我心理学入門 自我を支える対応法

ジェーン・キャッシュ、ビルギッタ・サンデル＝著

訓覇法子＝訳

本体 2000 円＋税

クリエイツかもがわ ☎ 075-661-5741



スウェーデンの老年臨床心理士2人による、認知症ケアのガイドブック。「自我心理学」を軸に、高齢者の心理変化や認知症の人の自我機能について、実例に即して解説する。さらに「一般の人にとっての『老いの受容』の手引き」（本書の紹介とすしめ）としても。

ダメ出し認知症ケア

和田行男、小宮英美＝著

本体 2000 円＋税

中央法規出版 ☎ 03-3834-5817



認知症ケア現場に関する14の事柄について、「ダメ出し」の形で介護福祉士とNHKプロデューサーが思いのたけを話し合う。現場で常識的に使われている言葉や態度を一刀両断。「それはおかしくないか」と問いかけ、警鐘を鳴らす。



がん患者のQOLを高めるための 骨転移の知識とケア

一般社団法人日本がん看護学会 = 監修

梅田恵、樋口比登実 = 編集

本体 3400 円 + 税

医学書院 ☎ 03-3817-5657

がん看護学会の学会事業の一つとして刊行される『がん看護実践ガイド』シリーズの1冊。がん治療と何とかが折り合いをつけてきたがん患者の毎日の生活は骨転移によって一変（序より）、複雑で全人的苦痛への対応を必要とする。本書は、がん患者に寄り添う看護職に向けて、骨転移の病態生理と診断、治療法からQOLを高めるケアを解説した初めてのガイドブック。

症状緩和とQOL向上の観点から 骨転移の治療・看護ケアを考える

治療の選択肢も増えている現在、骨転移を患える患者に対し、看護師はどのようにかかわっていくとよいのか。骨転移の診断・治療、発症部位、状態に応じたケアのポイントをまとめた初めての本。

医学書院

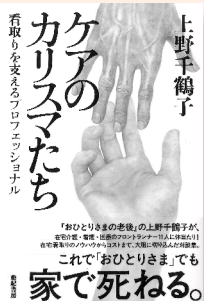
ケアのカリスマたち

看取りを支えるプロフェッショナル

上野千鶴子 = 著

本体 1600 円 + 税

亜紀書房 ☎ 03-5280-0261



「独居高齢者」当事者である著者が、看取りを支えるケアのプロフェッショナル11人と、それぞれの取り組み、まちづくり、行政や多職種との連携など、現状の課題について徹底的に議論する。著者が「聞いて安心できた」と語るプロたちの言葉は、自信と希望に満ちている。

ご飯が食べられなくなったらどうしますか？

永源寺の地域まるごとケア

花戸貴司 = 著

國森康弘 = 写真

本体 1800 円 + 税

農村漁村文化協会 ☎ 03-3585-1141



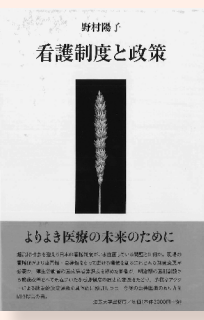
本誌巻頭カラーグラフに連載中の國森氏が撮り、滋賀県南東部にある永源寺診療所の在宅医・花戸貴司氏が綴った「地域まるごとケア」の日々。人生の最終ステージを家で迎える人々を支える「地域包括ケア」ならぬ「地域まるごとケア」の実像を目のあたりにする1冊。

看護制度と政策

野村陽子 = 著

本体 5300 円 + 税

法政大学出版局 ☎ 03-5214-5540



厚生労働省医政局看護課長を務めた著者による、看護政策の推進方策を提言する書。日本の看護を取り巻く制度、政策の歴史の変遷をたどり、なぜ看護の自律性が制限される制度が生まれたのか、現行の看護制度の問題点を挙げ、制度変革への道筋を探る。

介護福祉学への招待

地域包括ケア時代の基礎知識

松田美智子、藤川孝満、藤本文朗、埴田和史 = 編

本体 2200 円 + 税

クリエイツかもがわ ☎ 075-661-5741



地域包括ケアシステムの始動を見ずえ、介護福祉の来し方を学び、暮らしに根差した視点で課題を整理しつつ、広範な基礎知識をわかりやすく解説。学ぶ人にも、管理する人にも、そして当事者・家族が今後の方向性を考えるための一助にも。